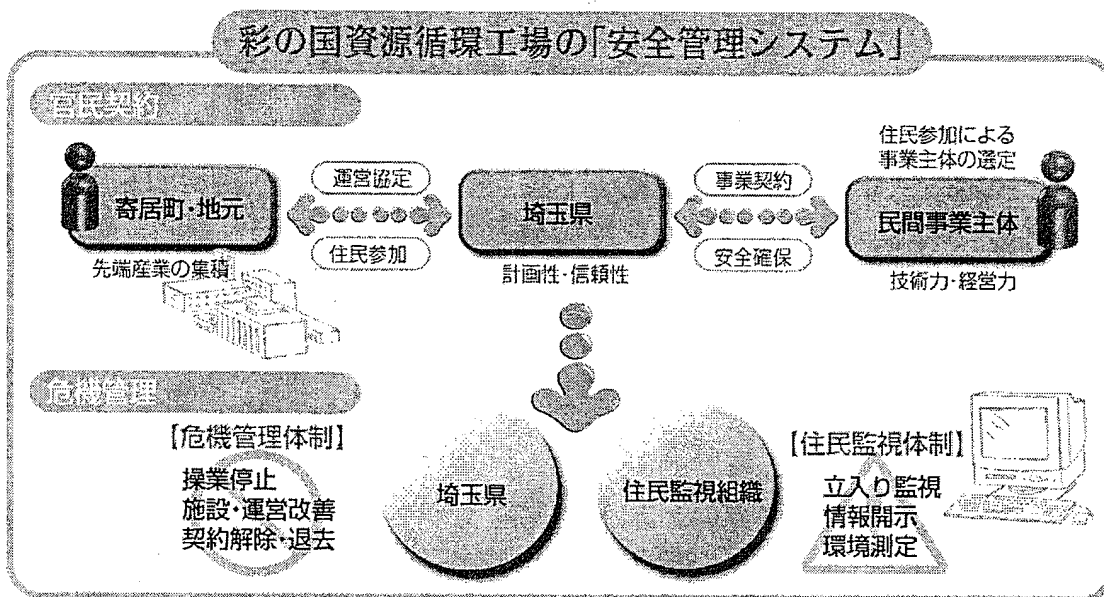


事業者とのコミュニケーションが図られることから、相互の理解を深めることにも寄与するものと考えられます。



〔監視員アンケート〕

現在、監視員には162名の方が寄居町から委嘱されており、資源循環工場へ週に1回の監視活動を行っています。

監視活動を通じて指摘された事項は、県を通じて施設に伝えられ、必要な改善が図られることとなります。

監視員の方々への、『監視活動についてどのように感じていますか』とのアンケートの結果では、「住民が監視することで、循環工場の安心・安全への取組が改善されていく」、「廃棄物の処理について、住民の立場から発言できることは大切である」の項目に多くの回答を得ており、直接の監視効果だけでなく、住民参加の観点でも一定の評価を得ていることが推察されます。

【監視員へのアンケート】

Q 住民自らが資源循環工場の監視活動を行うことは、全国的にも先進的な取組ですが、監視活動についてどのように感じていますか。

回答数（回答率）

85 (53%)	① 廃棄物の処理について、住民の立場から発言できることは大切である。
34 (21%)	② 自分たちの意見が事業に反映されていくので、安心できる。
51 (32%)	③ 実際に働いている人の話や作業現場を見ることができ、信頼感につながる。
93 (58%)	④ 住民が監視することで、循環工場の安心・安全への取組が改善されていく。
56 (35%)	⑤ 環境活動に参加することで、地域全体の環境意識が高まる。
25 (16%)	⑥ 自らの環境を、自らで守っていると実感できる。
62 (39%)	⑦ 自分たちの監視活動が、循環工場へごみを排出する市町村や企業の取組改善にも繋がっていく。
13 (8%)	⑧ その他

*回答数161名、(回答率)は回答者数(161)に対する回答数の割合